

私学助成署名推進ニュース

発行：全国私学助成をすすめる会（事務局：全国私教連）
No.15 2023年10月16日（月）

教育費負担の公私間格差をなくし、子どもたちにゆきとどいた教育をもとめる

佐賀県私学助成をすすめる会だより

NO. 3

佐賀市兵庫のゆめタウン佐賀で、3年ぶりとなる『私学助成署名』街頭署名を10月7日（土）午後1時30分から1時間、ゆめタウン佐賀南口と北口で行いました。短い時間でしたが、少しでも多くの方に関心を持ってもらいたいと思行いました。

佐賀県私学助成をすすめる会
（事務局：佐賀県私立学校教職員組合連合内）
2023年10月16日（金）
文責 事務局 米倉嘉康



署名協力と呼びかける生徒たち

買い物に行く前に署名してくれる方、買い物袋を車に置いてから署名に戻ってこられる方がおられ、終わってから「頑張っね」とか「応援してるよ」とか声をいただき、大変勇気づけられました。子ども連れのお父さんは「お前たちのために書いてるんやから、待って」と子どもに言われてました。

私立学校の学費は公立高校と比べ高く、子どもや親の負担となっています。就学支援金制度も所得制限があり、公立高校無償の910万円未満ではなく590万円の壁があります。公立私立関係なく、「公教育は公費で」全ての子供に平等に、私学助成の拡充を求める署名活動が全国で行われています。佐賀清和高校と佐賀学園高校の生徒を中心に保護者と教師も参加し行いました。



高校生「私学も無償に」

署名を力に私学助成拡充と就学支援金制度の維持・拡充

佐賀県私学助成をすすめる会は、国と佐賀県あての署名を進めています。署名運動が力になり、2020年度から国は年収590万円までの世帯の授業料を無償にしました。佐賀県議会では「私学助成増、就学支援金拡充等」の請願を全会派一致で採択を16年連続で毎年行っています。しかし、8月の対県要請でのご報告の通り県単独予算での就学支援金の拡充はなく、地域間格差がさらに広がっています。

授業料以外にも施設設備費など初年度全国平均約36万円、2、3年生約20万円以上の負担があります。

今年の国あての署名では○教育予算増額○私学の経常費助成補助の増額○年収910万円未満まで私立高校授業料無償に一を求めています。

『恩送り』

愛知県私学助成をすすめる運動は、『恩送り』が合言葉です。先輩方の署名運動で今の学生は私学助成額が増えている恩を受けている。だけど、先輩方に恩を返せないで、次の世代にその恩を返す形で運動が行われています。佐賀県の私学助成も同じです。先輩方のおかげです。次の世代のために頑張ります。

全国父母懇談会 広島大会・私学助成街頭署名に参加して

令和5年9月30日、10月1日の2日間、広島県で開催された全国父母懇談会広島大会に参加し、全国から集った保護者と先生方とがそれぞれに「子どもたちのよりよい学びのために」という思いをまんやかに置き、意見交換等を行いました。就学支援金の受給で私立学校に進学・通学することがだいぶ身近なものになってきましたが、公立高校が無償化されていること、我が子を私立に通わせるとなると金銭的な理由で諦めてしまうというケースが決して珍しくないことを考えると、まだまだ十分ではない部分があると思います。

現在、世帯収入590万円未満の家庭に対しては授業料に相当する額の支給、年間39万6千円、1ヶ月あたり3万3千円をいただくことができていますが、多子世帯に対しても基準は同じです。その中には高校生を複数人育てておられるご家庭もあります。子どもたちのためにと働いた結果、世帯収入が増え就学支援金が減額されてしまう現状があるのも事実です。現在の制度では590万円～910万円未満の世帯は年間11万8800円の支援金支給となり、1ヶ月あたりの支給額は9,900円となり、大きな差があります。また、590万円～910万円未満という幅の大きさにより負担感も様々だと思います。県立高校と私立高校の差もはっきりしているとお話もよく聞かせていただいています。その多くの差が「私立は学費が高い」という声につながっていると思います。

私立でなくてはできないことはたくさんあると思いますし、この学校でなくては。この学校がいい！そんな子どもたちの思いを大切にしたいけれど、私立は何かとお金がかかるから、できれば選んで欲しくない、我が子に「諦めて欲しい」と言わざるを得なかった保護者さんの切実な声を聞くことは未だ少なくありません。

佐賀県への要請、県議会への要請、国への要請といった活動に毎年参加させていただき、保護者として子どもたちが心配せずに学んでほしい、悲しい思いをする保護者の方がひとりでも少なくなって欲しいという思いを胸に、「愛すべき我が子が望む場で学びを続けられるように」そして「未来の子どもたちも安心して学べるように」という思いを伝えさせていただいています。

佐賀県私学助成をすすめる会 会長 古賀千花子

私学助成とは

私立学校の運営費の助成のことで、経常費2分の1までを補助するとなっています。しかし、現状では、各都道府県でバラバラで一律ではなく、授業料等の校納金額も学校で違っていることもあります。公立高校の運営はすべて税金が充てられていますが、私立学校では校納金と私学助成で賄われています。公立高校性一人当たり約100万円の税金が使われているのに対し、私学助成は生徒一人当たり40万円に満たない金額です。就学支援金と合わせても生徒一人当たり80万円に届かない金額で、その差は明らかです。

平等を教える教育現場での不平等をなくすためにも私学助成署名にご協力ください。

